

リブセンス、技術広報支援に特化した新会社
「株式会社コミュニケーションドラフト」を設立
～「技術広報の教科書」の著者・河又涼が代表取締役社長に就任し
企業の技術広報・DevRelを支援へ～

株式会社リブセンス（所在地：東京都港区、代表取締役社長：村上太一、証券コード：6054）は、2026年7月1日付で、技術広報やDevRelの支援を専門とする100%子会社「株式会社コミュニケーションドラフト（以下、コミュニケーションドラフト）」を設立します。

コミュニケーションドラフトは「企業とエンジニアのコミュニケーションをスムーズにする」をミッションに掲げ、企業とエンジニアが深く心地よいつながりを構築するための支援を提供します。代表取締役社長には、「技術広報の教科書（技術評論社）」の著者であり、日本のDevRelを牽引する河又涼（かわまたりょう）が就任します。



株式会社コミュニケーションドラフト 代表取締役社長 河又涼

新会社設立の背景 ～AI時代に難易度が高まる技術広報～



Communication Draft

AIの台頭により、技術広報の難易度は上昇しています。従来、技術広報はエンジニアによるブログや登壇等が技術力の証明やカルチャー表現となり信頼獲得に寄与していました。しかし、生成AIの普及に伴い、Web上の発信においては体裁の整った技術コンテンツが誰にでも量産可能となりました。そのためWebには類似情報が溢れ、真に価値ある発信が埋もれやすくなっています。さらに、情報収集の起点が検索エンジンからAIへとシフトするなか、丁寧に執筆された技術ブログであっても、読者の目に留まる機会は必然的に減少しています。

その一方で、エンジニアが自身のキャリアを検討する際、企業の技術力やカルチャーを重要な判断材料とする事実が変わりはなく、技術発信の価値が失われたわけではありません。発信が容易になったからこそ、深い知見に基づいた戦略的な技術広報の実践が求められます。この「難易度が高まった技術広報」という課題に対し、企業の技術力を正しく、かつ魅力的に伝えていくために、DevRelの専門家である河又を代表に迎え、専門的な支援体制を構築することといたしました。

また、リブセンスが運営するITエンジニア向け転職サービス『転職ドラフト』の市場データや採用ノウハウを最大限に活用できる点も同社の大きな特長です。ITエンジニアの動向やリアルな評価基準を解像度高く捉え、それをデータドリブンな戦略へと昇華させる。この「データと知見の高度な融合」こそが、企業の技術広報を成功に導きます。

代表取締役社長・河又涼の専門性

河又は、エンジニア採用支援の営業からDevRelに転身した経歴を持ちます。2023年5月より株式会社タイミーにて1人目の技術広報を務め、戦略的なブランディングやイベント企画を牽引。同年の社内アワードを受賞するなど、確かな実績を築いてきました。また、約700名の規模を誇る国内最大級の技術広報コミュニティ「DevRel Guild」の主宰者でもあり、その類まれな専門性は高く評価されています。新会社では、河又の持つ高度な知見を最大の強みとして事業を推進してまいります。

なお、河又は引き続き「DevRel Guild」の運営にも携わり、事業とコミュニティ活動の両輪で日本のDevRelのさらなる活性化を牽引する役割を担います。

コミュニケーションドラフトが提供する主なサービス

コミュニケーションドラフトは、主に以下のサービスを提供します。

サービス名	支援内容の概要
採用ブランディング診断	現役エンジニアへの実態調査や発信分析に基づき、採用ブランディングの現在地を可視化。課題の特定と改善に向けた戦略を提案します。
技術広報ブートキャンプ (研修プログラム)	技術広報の型 (KPI設計、ネタの仕組み化、エンジニアの巻き込み方など) を体系的な研修プログラムとして提供し、基礎的なスキルやナレッジの習得を支援します。
技術広報 伴走支援	外部の技術広報チームとして施策を共に実行しつつ、プレイブックや運用ノウハウを社内に残すことで、最終的な「自走」を目指す伴走型サービスです。
エンタープライズ技術広報 パートナー	複数事業部を展開する大規模組織に対し、上流の戦略策定から複数チャネルの運用、効果測定基盤の構築までを包括的にサポートします。
その他	カンファレンスへの出展支援や、アドバイザー契約によるスポットでの相談対応など、企業のニーズに合わせた柔軟な支援を提供します。

【会社設立記念】特別無料キャンペーンのご案内

新会社の設立を記念し、3社限定で『技術広報ブートキャンプ』の体験版を特別に無料提供いたします。「技術発信の着手ポイントが不明確」「まずは体系的な知見を導入したい」とお考えの企業様は、本キャンペーンをぜひご検討ください。

■ 応募ステップ

コミュニケーションドラフトの公式サイト (<https://communication-draft.jp>) 内にあるコンタクトフォームより、詳細をご入力の上送信をお願いいたします。

(※申し込みが定員を超過した際は、厳正なる抽選にて決定させていただきます)

河又涼（コミュニケーションドラフト 代表取締役社長）コメント

技術広報が職種・ロールとして認知されてきたのは、ここ4~5年のことで、業界にはまだ知見不足に悩む会社が多いと感じています。そうした会社や担当者の力になればと、技術広報コミュニティ「DevRel Guild」を立ち上げ、これから始める人がつまづかないようにと『技術広報の教科書』を執筆してきました。

自分の知見が少しでも誰かの助けになればという気持ちで続けてきた活動を、今後は事業として行っていくことになりました。これまでの活動を見てお声がけくださったリブセンス社には深く感謝しています。いままで私は技術広報として所属企業の技術発信に向き合ってきましたが、これからは日本の技術広報をより良くしていくという気持ちで仕事に臨んでまいります。



(左から) リブセンス 代表取締役社長 村上太一 / コミュニケーションドラフト 代表取締役社長 河又涼

村上太一（リブセンス 代表取締役社長）コメント

AIの活用が急速に広がるなかで、エンジニア採用の現場は大きな転換期を迎えています。スカウトの文面をはじめとするテキストのみによる差別化が困難になるなかで、候補者が「その企業を認知しているか」「どのような印象を抱いているか」という技術ブランディングの質が、採用の成否を分かつ大きな要因となりつつあります。

このような背景から、日本のDevRelを牽引する河又さんの深い専門性と、当社が『転職ドラフト』の運営を通じて培ってきた顧客・利用者基盤を活かすことで、企業の採用力強化をこれまで以上に支援できるものと確信し、この度の「コミュニケーションドラフト」設立に至りました。外部の才能と手を取り合うこの挑戦は、リブセンスの歴史においてもユニークな試みです。企業の皆さまの採用成功に向け、全力で伴走してまいります。

「株式会社コミュニケーションドラフト」の概要

会社名	株式会社コミュニケーションドラフト
所在地	〒105-7510 東京都港区海岸1-7-1 東京ポートシティ竹芝10階
代表者	代表取締役社長 河又涼
事業内容	技術広報支援、DevRel支援、採用ブランディング支援
設立日	2026年7月1日(予定)
資本金	1億円
株主	株式会社リブセンス 100%
Webサイト	https://communication-draft.jp/

株式会社リブセンスについて (URL : <https://www.livesense.co.jp/>)



株式会社リブセンスは、「あたりまえを、発明しよう。」をコーポレートビジョンに掲げ、『マッハバイト』『転職会議』『転職ドラフト』『batonn (バトン)』『IESHIL (イエシル)』などのサービスを展開しています。新しい“あたりまえ”の発明を通じて、より多くのお客様に、そして広く社会に必要とされる企業を目指しています。

- ・ 所在地：東京都港区海岸1-7-1 東京ポートシティ竹芝10F
- ・ 設立：2006年2月8日
- ・ 資本金：237百万円
- ・ 代表者：代表取締役社長 村上太一
- ・ 事業内容：インターネットメディア運営事業

報道機関からのお問い合わせ先

株式会社リブセンス 広報担当 小山(おやま)・宮永(みやなが)

メール：live-pr@livesense.co.jp 電話：080-4857-0491